

◇ 教員免許更新講習シラバス(選択領域分)

講座内容についての問い合わせ先…koushin@nara-edu.ac.jp(奈良教育大学)

講習名		主な受講対象者	時間	講習形態
音楽教育		中高音楽教諭	6H	講義・演習
日程	定員	講師名(所属・職名等)		
平成30年8月21日(火)	20人	劉 麟玉(奈良教育大学・准教授) 北條 美香代(奈良教育大学・准教授) 前田 則子(奈良教育大学・教授) 水野 亜歴(奈良教育大学・専任講師)		
会場				
奈良教育大学				
<b>【講習の概要】</b>				
中高音楽科における教育内容の充実をはかることを目的とし、4つの小テーマを扱った講義・演習を開講する。音楽教育の分野では、新学習指導要領における改訂ポイントを理解し、主体的・協働的な学習への取り組みについて考える。作曲・編曲の分野では、郷土の音素材を用いた教材開発として、わらべうたを用いた編曲法、創作法を学ぶ。声楽実技、及びピアノ実技では、テクニックや表現法に関する見直しや、指導法について演習する。				
<b>【小テーマ①】 新学習指導要領における音楽科の指導</b>			1. 0H	(担当講師:劉 麟玉)
講習形態	講義形式			
講習内容	平成29年3月に新しい学習指導要領が告示された。本講義では今回の改訂ポイントについて紹介し、目標として加えられた「主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習」に取り組むことや、表現領域の内容として加えられた「創意工夫」という表現力について、創作活動を通して考える。			
到達目標・確認指標	新学習指導要領で新たに上げられている内容と中学校音楽科の創作活動との関わりを理解することができる。			
キーワード	音楽創作活動、主体的・協働的な学習			
<b>【小テーマ②】 郷土の音素材を用いた教材開発～わらべうた教材編曲法、創作法と実践～</b>			2. 0H	担当講師:北條 美香代)
講習形態	講義形式・演習形式			
講習内容	郷土の音素材をテーマに創作された楽曲、教材について実践を交えながらその編曲法、創作法を学ぶ。また、これらを踏まえ、講習の最後に実際に郷土の音素材を用いた教材を創作する。			
到達目標・確認指標	郷土の音素材をテーマにした楽曲の編曲、創作法について理解する。実演して得た知識を生かして自分なりの作品を創作することを目標とする。			
キーワード	わらべうた、創作法、編曲法			
<b>【小テーマ③】 ピアノ実技ワンポイントレッスン</b>			1. 5H	(担当講師:前田 則子)
講習形態	演習形式			
講習内容	公開レッスン形式で、講師が演奏についての1ポイントアドバイスを行います。受講者からレッスン受講希望曲を予め募集し、1人5分程度で演奏してもらいます。作品の持ち味を生かした魅力的な演奏ができるよう、音色やテクニックについて個人的にアプローチします。			
到達目標・確認指標	演奏時の身体の使い方や聴取の注意力によって、ピアノの音色や表現が変化することを認識できる。			
キーワード	ピアノ演奏、ピアノ伴奏、実技指導			
<b>【小テーマ④】 声楽実技ワンポイントレッスン</b>			1. 5H	(担当講師:水野 亜歴)
講習形態	演習形式			
講習内容	自由曲1曲をピアノ伴奏で演奏(公開レッスン形式)してもらい、楽器としての声の調整を中心にワンポイントアドバイスを行います。また受講者の今までの経験を元に声楽と一緒に考えます。実技指導の方法について時間があればフリートークの時間をもうけます。			
到達目標・確認指標	自分の声楽テクニックを確認し、音量・音域の拡張、音色の吟味、発音の整理等に努める。			
キーワード	声楽テクニック(音量・音域・音色・発音・表現)、楽譜、音楽性、個性			
試験方法	【小テーマ①】講習の最後にレポートを作成する。【小テーマ②】講習最後の20分間で作品を創作する。【小テーマ③、④】演奏表現法やテクニックについて、自身・他者のレッスンから得られた新たな知識や考えについてレポートにまとめる。			
成績評価の方法・基準等	各テーマで実施した試験をもとに成績評価する(25点+25点+25点+25点=100点満点)。総合点で60点以上を合格とする。			
備考	【小テーマ②】アルトリコーダーを持参のこと。【小テーマ③、④】受講者にレッスンで演奏いただきますので、各自の演奏曲の楽譜コピー(講師用1部と伴奏ピアニスト用1部)を事務局へ郵送して下さい。※楽譜の郵送時期や郵送先については、申込後、大学から各受講者に連絡いたします。なお、教室(第1アンサンブル室)用に室内履きを用意して下さい。			